

歯 科 健 康 診 査

表1 年度別受診者数

区 分	受 診 者			受診団体
	総 数	男	女	
26年度	10 437*)	7 901	2 536	17
25年度	11 376	8 881	2 495	17
24年度	11 909	9 145	2 746	17

*) 独自方式で実施の1577名含む

表2 歯周病検査（CPI）結果—歯周組織の状態について

区 分	受診者	0：健全		1：歯肉炎あり		2：歯肉炎+歯石あり		3：歯周炎あり		4：進行した歯周炎あり		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 990	1 969	28.2	1 357	19.4	3 520	50.4	130	1.9	13	0.2	1	0.0
	女	1 870	772	41.3	366	19.6	706	37.8	24	1.3	2	0.1	0	-
	計	8 860	2 741	30.9	1 723	19.4	4 226	47.7	154	1.7	15	0.2	1	0.0
～29歳	男	3 119	900	28.9	557	17.9	1 613	51.7	44	1.4	5	0.2	0	-
	女	1 019	412	40.4	200	19.6	394	38.7	13	1.3	0	-	0	-
	計	4 138	1 312	31.7	757	18.3	2 007	48.5	57	1.4	5	0.1	0	-
30～39歳	男	3 207	924	28.8	628	19.6	1 592	49.6	58	1.8	5	0.2	0	-
	女	688	296	43.0	130	18.9	254	36.9	7	1.0	1	0.1	0	-
	計	3 895	1 220	31.3	758	19.5	1 846	47.4	65	1.7	6	0.2	0	-
40～49歳	男	455	97	21.3	130	28.6	211	46.4	16	3.5	1	0.2	0	-
	女	128	52	40.6	31	24.2	41	32.0	4	3.1	0	-	0	-
	計	583	149	25.6	161	27.6	252	43.2	20	3.4	1	0.2	0	-
50～59歳	男	185	43	23.2	37	20.0	92	49.7	11	5.9	1	0.5	1	0.5
	女	29	11	37.9	4	13.8	13	44.8	0	-	1	3.4	0	-
	計	214	54	25.2	41	19.2	105	49.1	11	5.1	2	0.9	1	0.5
60歳～	男	24	5	20.8	5	20.8	12	50.0	1	4.2	1	4.2	0	-
	女	6	1	16.7	1	16.7	4	66.7	0	-	0	-	0	-
	計	30	6	20.0	6	20.0	16	53.3	1	3.3	1	3.3	0	-

CPI：Community Periodontal Index

表3 口腔診査結果—歯の状態について

区 分	受診者	要治療歯のある人		1本		2本		3本		4本		5本以上		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 990	2 573	36.8	1 180	16.9	629	9.0	285	4.1	175	2.5	304	4.3
	女	1 870	522	27.9	263	14.1	126	6.7	54	2.9	29	1.6	50	2.7
	計	8 860	3 095	34.9	1 443	16.3	755	8.5	339	3.8	204	2.3	354	4.0

表4 総合評価

区 分	受診者数	A：異常なし		B：要注意		C：要予防処置		D：要検査		E：要治療		F：治療中		G：その他		判定なし		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 990	1 063	15.2	1 007	14.4	2 105	30.1	69	1.0	2 246	32.1	498	7.1	2	0.0	0	-
	女	1 870	450	24.1	331	17.7	479	25.6	16	0.9	408	21.8	185	9.9	1	0.1	0	-
	計	8 860	1 513	17.1	1 338	15.1	2 584	29.2	85	1.0	2 654	30.0	683	7.7	3	0.0	0	-

表5 歯みがきの状態

区分	受診者数	1：良好		2：ほぼ良い		3：やや不良		4：不良		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	6 990	1 232	17.6	4 090	58.5	1 559	22.3	109	1.6	0	-
	女	1 870	645	34.5	1 032	55.2	187	10.0	6	0.3	0	-
	計	8 860	1 877	21.2	5 122	57.8	1 746	19.7	115	1.3	0	-

表6 咀嚼力検査

区分	受診者数	0		1		2		3		4		5		未検査		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	6 990	2	0.0	108	1.5	949	13.6	1 950	27.9	3 170	45.4	709	10.1	102	1.5
	女	1 870	0	-	76	4.1	517	27.6	589	31.5	589	31.5	42	2.2	57	3.0
	計	8 860	2	0.0	184	2.1	1 466	16.5	2 539	28.7	3 759	42.4	751	8.5	159	1.8

※) 1分間噛んだガムの色を数字で表しています
よく噛める人ほど数字が大きくなります

歯周病の知識

歯周病（もしくは歯周疾患）は専門学会にて分類されています。大別すると「歯肉」に限局した病気なのか「歯槽骨」や「歯根膜」に達する（より重度の）病気なのか、ということです。

表 歯周病の分類（抜粋）

- 1. 歯肉病変
 - 1) プラーク性歯肉炎
 - 2) 非プラーク性歯肉炎
 - 3) 歯肉増殖
- 2. 歯周炎
 - 1) 慢性歯周炎
 - 2) 侵襲性歯周炎

歯肉炎は比較的軽症で、治療と日常のケア（ブラッシング）で治療することが可能です。歯周病は

骨など歯周組織にまで波及した状態なので、完全に元には戻らず、継続した医学的管理（定期的な歯科受診および専門的なセルフケア）が必要になります。

歯周炎は自然治癒がないのです。歯周炎が見つかったら、それは早期に受診行動をとり、生涯に渡り咬むことができるように（歯を失わないように）管理する必要があります。これは慢性的、いわば生活習慣病なのです。

下に代表的なお口の状態を示します。写真は高血圧治療に用いられるカルシウム拮抗薬の副作用で発症することがある「歯肉増殖症」です。歯茎が増殖して、食事の際に食べ物が当たって痛くて噛めない、という状態です。お口の健康と全身との関連を知ること健康意識を高めて欲しいと思います。



薬物性歯肉増殖症の例

野村典生、菅 武雄、山本 健、新井 高、森戸光彦：
「糖尿病を伴う高血圧症・不整脈患者に発症したニフェジピン性歯肉増殖症の治療経過—術後2年経過の1症例—」
老年歯学、15(1)：58-63、2000.